

地方独立行政法人第79条の2の検討（第3期中期目標期間終了時の検討）について（案）

1 第3期中期目標期間終了時の検討について

公立大学法人奈良県立医科大学について、第3期(平成31年度～)の成果等を踏まえ、第4期(令和7年度～)における業務継続の必要性、組織及び業務全般に対する県の考えを示す。

2 第3期中期目標期間(平成31年度～)の成果等見込み

達成見込み

【基準】

第3期中期目標期間の見込み評価において、期間内に数値目標の達成が見込まれる主な項目(抜粋)

- 特定行為研修(急性期・在宅コース)を修了した看護師数の増加
- 県民健康増進支援センターによる県・市町村及び民間医療機関等の支援の新規件数(累計)の増加
- 災害医療を支えるDMATチームの育成
- 高い紹介率の維持・逆紹介率の維持
- CBT(臨床実習開始前(4年生時)に実施する共用試験)合格率の向上
- Post-CC OSCE(臨床実習終了後(6年生時)に実施する客観的臨床能力試験)合格率の維持
- 研究推進体制の適正化と強化の推進
- 民間企業や他学部との共同研究件数(累計)の増加
- 患者満足度調査において「非常に満足」「満足」と回答した割合の維持
- 患者安全対策提案数の増加
- 男性の育休取得率の増加
- 看護師の在職率の維持
- 復職支援カリキュラムの満足度の向上

課題

【基準】

第3期中期目標期間の見込み評価において、期間内に数値目標の達成が困難と見込まれる項目

- 看護学科卒業生の保健師県内就業者数の増加
- 救急隊からの受入照会に対する受入率の向上
- 看護技術項目到達度チェックリストの到達度平均の向上
- 女性研究者数(医学科女性教員割合)の増加
- 認定看護師等の増加

第3期中期目標の見込み評価

平成31年度から令和4年度の各年度の事業評価において、評価委員会より中期目標・中期計画の達成に向けて「全体として順調に進んでいる」との評価を受けていることから、第3期中期目標期間において目標を達成する見込みである。

事業年度	評価委員会の評価
平成31年度	全体として順調に進んでいる。
令和2年度	全体として順調に進んでいる。
令和3年度	全体として順調に進んでいる。
令和4年度	全体として順調に進んでいる。

4 第4期中期目標期間(令和7年度～)の運営方針等の検討

運営方針

◇第3期中期目標期間の成果について

第3期中期目標期間は、一定の成果を挙げ、「中期目標の達成状況が全体として良好である」と評価を受けており、第4期についても、引き続き順調な運営が期待できる。

◇第4期中期目標期間の課題について

第3期において残された課題については、組織及び経営基盤の強化に努めつつ、今後、第4期中期目標期間に法人が責任をもって対応する必要がある。

3 第4期中期目標期間(令和7年度～)のミッション

県が法人に求めること

持続可能な経営基盤を維持し、最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献すること。

5 第4期中期目標期間(令和7年度～)の方針

以上のことから、業務を継続させる必要性、組織の在り方等、総合的に考慮した結果、第4期中期目標期間において、引き続き、現在の公立大学法人において業務を継続させることとし、ミッションを実現するための第4期中期目標を策定する。